



(大阪)

2025 年 新年号

プレス 会報

OSAKA METAL STAMPING ASSOCIATION'S NEWS

目 次

- ◆令和7年 年 頭 所 感
林 秀 昭 大阪金属プレス工業会 会長 . . . 1
- ◆忘 年 会 報 告 2～4
- ◆金属プレス研修塾 活動報告 5～6
- ◆ICOSPA 第 21 回 国際会議 大阪ナイト報告 7
- ◆理事会・委員会・青年部会 活動報告 8
- ◆新年賀詞交歓会のご案内 9～10
- ◆金属プレス加工技術展 2025 出展のご案内 11～12
- ◆実習で学ぶプレス加工と金型セミナーご案内 . . . 13～14

<その他同封資料>

- 動力プレス機械の金型調整の業務の特別教育のご案内
- 低濃度P C B廃棄物 処分期限のお知らせ
同上 アンケート調査ご協力をお願い
(大阪府環境農林水産部、環境廃棄物処理事業振興財団)

工業会からのご連絡（会員の皆様へ）

新春特別講演会と新年賀詞交歓会は2025年1月30日（木）開催です。
是非ご参加下さい。お申込みは1月15日（水）までをお願い致します！



← LINE 公式アカウント 友達登録
<https://lin.ee/8qMS6Bf>

大阪金属プレス工業会 HP →
<http://www.omsa.or.jp/>



年頭のご挨拶



(一社)大阪金属プレス工業会
代表理事 林 秀昭

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また旧年中は当会運営におきまして、多大なるご支援とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

まずは昨年 10 月に開催した、日本金属プレス工業協会主催「2024 金属プレス国際会議 ICOSPA 大阪」において、多数の会員様に登録参加して頂き、心より感謝申し上げます。

お陰をもちまして、19 年ぶりに日本で開催された ICOSPA 大阪は、国内外 180 名を超える参加者に「プレス技術の学び、感動、喜び」を体感して頂く会議となり、無事大成功に終わることが出来ました。また会議 2 日目、大阪金属プレス工業会総務経営委員会が企画運営した「大阪ナイト」は、“よしもと”の島田珠代と吉田裕をスペシャルゲストとして招き入れ、楽しくそして和やかな全国会員交流の場となりました。

さて、我々のプレス部品づくりの業界は、様々な世界情勢に翻弄されたり、材料や人件費等の高騰に日々悩まされたりしています。

その様な環境の中、当大阪金属プレス工業会では、それぞれの企業で培ってきた素晴らしいプレス技術や金型技術の知見を活かし、新しいお客様開拓の一助を担っていけるよう、インターモールド(金属プレス加工技術展)への積極参加を推進しております。

また、国家試験「プレス技能検定」におきましては、大阪金属プレス工業会主催の学科・実技の講習会を行い、会員企業社員の受験者の合格率を高めてきました。

本年におきましても引き続き、会員企業若手社員を対象とした 6 回シリーズの「金属プレス経営塾」・国内工場見学会・プレス加工セミナー・経営セミナー等を開催させて頂く予定です。

また、賛助会員であるプレス機械メーカーや搬送装置メーカー等にも、最新の技術を紹介して頂き、生産性の向上の一助を担って頂きたいと思っています。

大阪金属プレス工業会の会員パートナー宣言である「会員の皆様を守り育てる、会員の皆様と一緒に未来につなぐ」をもとに、「プレス部品づくりを夢と希望を持てる魅力ある業界に」をビジョンに掲げ、本年も事業展開をしてまいる所存でございますので、尚一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、会員各社様の益々のご発展と、会員の皆様のご健勝とご多幸を祈念いたしまして、年頭の挨拶とさせていただきます。

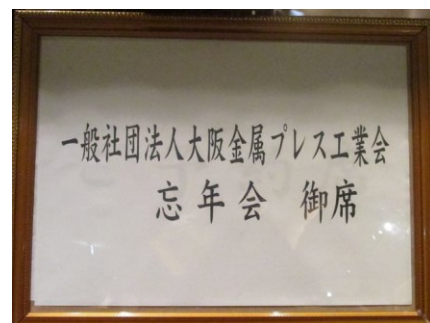
令和6年 忘年会

日 時：令和6年 12月 4日（水）
午後6時30分～
場 所：ホテルモントレグラスミア大阪
22階「ハートウェイホール」
参 加 者：34名（会員企業のみ参加）

当工業会の令和6年 忘年会は昨年と同じ会場、ホテルモントレグラスミア大阪にて開催しました。お食事をゆっくりと楽しんで頂きたく、着席&コース料理としました。昨年と同様に多くの会員企業の方にご参加頂きました。

島田真輔副会長の司会進行で始まり、例年は冒頭に会長が挨拶に立ちますが、林会長は所用により欠席のため、代わって関健一 副会長が挨拶に立ち、世間や業界の情勢で一年間を振り返ると共に会員企業様の一年間の労をねぎらいました。

次に西村哲也副会長の乾杯ご発声にて開宴し、美味しい料理で歓談頂き、名刺交換や情報交換も活発に行われました。



関 健一 副会長 ご挨拶



関 健一 副会長 ご挨拶風景



西村哲也
副会長による
乾杯のご発声

宴もたけなわの中、昨年大好評の『豪華賞品-大抽選会』を今回も開催しました。林会長、関副会長、西村副会長、島田副会長、朝田副会長、濱田監事から協賛品を頂き、ホテルモントレーからも食事券をご提供いただきました。提供者が抽選箱の中から番号くじを引き、参加者の名札に記載された抽選用番号と合っていれば当選です。



当選者へ賞品の贈呈

賞品は、ウィスキー（山崎など計4本）、アラジントースター、象印製品（2個）、人感センサー付足元ヒーター（2個）、パナソニック製シェーバー（3個）、女性用ハンドバッグ（3個）、ホテルレストランペア食事券など豪華な賞品が合計16品もありました。参加者は34名でしたので、当選確率は約 $1/2$ という高確率でした。



当選した方から喜びのひと言

当選された方は贈呈式をした後に壇上でひと言喜びのお声を頂きました。皆様大変喜んでおられる様子でした。中には二年連続で当選した方もおられます。



朝田武志副会長の一丁締めにて閉宴

大抽選会の後もしばらくはご歓談頂いて美味しい料理とお酒で楽しいひと時をお過ごしいただきました。

残念ですが閉宴のお時間となり、閉宴のご挨拶は朝田武志副会長が壇上に立ち、景気よく一丁締めで最後を締めて頂きました。

<お料理のご紹介 など>



季節の彩り和前菜盛り合わせ



お造り 二種盛り



真鯛と海老の低温スチーム 冬大根のコンソメ含め煮



ビーフテンダーロインのグリル



ご歓談中の風景



ご歓談中の風景

<会員の皆様へ>

大変楽しい忘年会です。
来年のご参加をお待ちしております。

忘年会の
動画は
こちら



金属プレス研修塾 神戸製鋼所見学

日 時：令和6年11月15日（金）午後1時～4時
訪 問 先：株式会社神戸製鋼所 加古川製鉄所（兵庫県加古川市金沢町 1）
内 容：挨拶、DVD鑑賞、見学（原料ヤード、高炉、熱延など）、応接で質疑応答など
参 加 者：18名（塾生17名、他1名）

金属プレス研修塾は、1年間（計6回）の研修を通じて塾生を募集し、金属プレス製品が出来るまでの過程（①製鉄所→②コイルセンター→③金型製作→④プレス製品製作）を学び、同時に塾生同士の交流を図る目的で昨年度から開始して今年は2年目（第2期生）です。9月の開塾式に続いて今回は鉄鋼材料の製造工程を学ぶために、神戸製鋼所の加古川製鉄所を訪問し研修しました。

加古川製鉄所は1970年（昭和45年）8月に高炉の操業を開始し、鉄鋼一貫体制の神戸製鋼所最大の製鉄所です。敷地面積 約570万m²（甲子園球場150個分）、年間粗鋼生産量 約600万トン（日本全体で約8,000万トン）



加古川製鉄所（写真は Wikipedia から）

JR 加古川駅に集合して送迎バスにて加古川製鉄所へ入りました。最初に双方の挨拶があり、紹介DVD鑑賞を致しました。次にいよいよ見学です。最初は原料ヤードを見学、原料となる鉄鉱石や石炭などが置かれベルトコンベアで高炉へ運ばれて行きます。高炉（高さ約100m）では鉄鉱石や石炭を入れて反応させ銑鉄（溶けた鉄）を作ります。銑鉄を取り出す作業が迫力満点です。銑鉄は混銑車という特殊車両で運搬され転炉へと運ばれます。転炉では大量の酸素を吹き込んで炭素成分を取り除いて強靱な鋼を作ります。今回はタイミングが合わず転炉から出た溶けた鋼を見ることは出来ませんでした。転炉から出た溶けた鋼は連続鋳造設備を経て、厚板工場や線材工場へ運ばれて成形されていきます。厚板工場では長いローラー上を何度も往復しながら徐々に薄く延ばされてオーダーされた厚みに加工されます。熱く光る鋼がローラーを流れる迫力ある光景を見ることが出来ました。薄板工場は厚さ3mm以下の鉄板を作る工場です。薄板工場は一方通行で薄く引き伸ばされて最後は巻き取られます。

見学後は質疑応答の場が設けられました。塾生の皆様は日常業務で鉄鋼材料を扱っておられるので専門的な質疑応答がありました。見る機会が少ない製鉄所を見学出来て大変良かったと皆さんの感想でした。



応接室での質疑応答



集合写真

公式動画
加古川製鉄所
（紹介用）
工場見学出来ます



公式動画
加古川製鉄所
（リクルート用）



<2024 年 11 月 15 日 神戸製鋼所 研修 塾生レポート 抜粋>

(同じ内容のものをまとめました、順不同)

1) 所感(感銘を受けた内容)

- 570 万㎡の広大な敷地にバス移動、混雑車が鉄道を使って走っていることすべての規模の大きさに驚きました。
- 厚板圧延機による圧延工程は直に真っ赤な鉄、温度、を肌で感じる事ができ写真や動画では得られない製鉄の現場を間近で見学することができ感動しました。
- 20 万トンクラスの大型船が接岸できる岸壁では、海外からの原料を受け入れる設備があり、1 週間をかけ原料の荷下ろしを行うなど、鉄鋼工場のスケールの大きさに再度驚かされました。
- 原材料については海外からの輸入に頼っているとのこと日本の資源が乏しいことを実感しました。そのため製鉄の価格をコントロール出来ないのだと感じました。
- 敷地面積の 8%には木を植えないといけないという事、製鉄所内で使用される水の 97%以上を再利用している事、又自家発電設備もあり、ほぼすべての電力をまかなえるということで限りある資源とエネルギーのリサイクルを有効に活用されていると感じました。
- 環境美化に努力しているのが防塵ネットだとか植木をたくさん植えているところから伺えました。広い敷地ですが環境への配慮ということで社員は皆、バス通勤で、マイカー使用はしないようになっていて徹底されていると感じました。
- 高炉が停止することは滅多になく、基本 365 日 24 時間操業だとお聞きしました。停止してしまうと鉄が固まってしまう、設備に悪影響が出るからだそうです。高炉で不純物が蓄積したものを『サラマNDER』と呼んでおり、加古川製鉄所の正面玄関横に取り出したものを置いていたので拝見させて頂きました。除去するのにダイナマイトを使用するとお聞きしました。
- 鉄づくりのスペシャリストとも言える神戸製鋼様をもってしても、サビに対しては防ぎ切る事は難しく、私たちと同様に苦労されているとお聞きして改めて鉄製品の取り扱いや管理の難しさを感じました。

2) 自分の会社・組織・役割・仕事に関して参考になった内容

- 熱中症対策をしても 30 名以上の方が搬送された事が印象に残りました。自分の会社でも熱中症対策をどのようにすればいいのか考えてみようと思います。
- 原料ヤードから高炉、転炉へと仕事の流れがスムーズに進む工程になっているレイアウトでした。製造工程にロスのない所を学ばせて頂きました。参考にしたいと思いました。
- 担当の方がすれ違う社員の方に「ご安全に」という言葉をかけられていたのが印象に残りました。いろいろなかたちでのコミュニケーションがある事が参考になりました。
- 鉄はどうしても錆びます。その錆びを防ぐために油をつけて保管しますが、特殊被膜で覆って防ぐ方法もあるとお聞きして弊社も検討していきたいと思いました。
- 広い工場内どのように従業員の安全を確認しているのかという問題に関して、見回りパトロールの実施や見守りカメラの設置、また人が入らない所はドローンを飛ばしたりしているとのこと。

3) その他(印象に残った内容や取り組み、自由意見など)

- 自家発電設備があり、ほとんどの電気をまかなっている事に驚きました。発電に必要な燃料は加古川製鉄所から出る廃熱やガスを使用していると聞き印象に残りました。
- 今回の見学では転炉工程が見られませんでしたので、またの機会に見学してみたいと思いました。
- 鋼材価格が上昇している中で価格を抑えようと努力して頂いている取り組みがとても印象的でした。原材料が上がれば価格が高騰するのが当たり前ではなく少しでも低価格で提供できるように日々取り組まれているのがありがたいと思いました。
- 現場内が暗かったのが気になりました。他に照明等の設置が必要ではないかと。
- 岸壁の一部を一般利用に開放しているとの事で、地域との共存が出来ていると感じました。
- 厚板工場が一番印象に残っております。想像以上の激しい加工工程で衝撃を受けました。
- 他の会社の方々と交流をさせて頂く中で、同じ悩みを共感でき、又自分の中に無かった新たな発見などがあり、普段会社の中だけでは得られないとても有意義な時間を過ごせたと感じます。

以 上

大阪ナイトを開催しました

ICOSPA 第21回金属プレス国際会議にて

日 時：2024年 10月 24日（木） 午後6時30分～

場 所：ホテルニューオータニ大阪 鳳凰の間Ⅱ

参 加 者：61名 （国内の方のみ）

10月23日（水）から25日（金）まで、金属プレス国際会議（第21回 ICOSPA 国際会議）が19年ぶりに日本で開催されました。前回の日本開催は2005年に東京と愛知の2拠点開催でしたが今回は私たちの地元の大阪での開催となりました。メイン会場のホテルニューオータニ大阪に世界6か国リーダーや専門家が、国内からも多くの業界関係者が集いました。

国際会議は上部団体である日本金属プレス工業協会が主催ですが、せっかく全国から集まって頂いた国内の関係者をもてなし喜んでいただくために、中日の24日（木）に大阪金属プレス工業協会が主催の「大阪ナイト」を企画して開催致しました。会場は同じホテルニューオータニにて着席で中華料理のコース料理をご提供してご歓談頂き、途中に大阪らしく吉本芸人による余興を行ないました。吉本芸人は島田珠代さん、吉田裕さん、大阪府住みます芸人「span!（スパン）」他にご出演頂き、当会の林会長も登壇して笑いで皆様を楽しませていました。



吉本芸人と林会長によるプレス業界の紹介など



吉本芸人による ちくびドリル&プレス芸



吉本芸人と記念の集合写真

理事会・事業推進会議 報告

開催日時、場所	内 容	参加者	写 真
第 1 回 事業推進会議 10月4日 18時30分～ たかつガーデン「ガーベラ」	・金属プレス国際会議 (ICOSPA) ・金属プレス研修塾 ・技能検定「金属プレス加工」 ・忘年会 ・新年賀詞交歓会 ・工業見学 ・その他	10 名	
第 30 回 理事会 11月20日 16時00分～ たかつガーデン「ガーベラ」	・令和6年上期 収支決算報告、期末決算予測 ・令和6年上期会員異動状況 ・金属プレス国際会議 (ICOSPA) ・忘年会、賀詞交歓会、講演会 ・次期役員改選 ・その他	13 名	

青年部会 活動報告

青年部会とは、50歳以下の次代を担う若手経営者及び経営幹部による活動の場です。毎月メンバーが集まり、近況報告会や勉強会（講師例会）、工場見学会などを実施して経営者としての見識・教養を高め、会員同士の交流を深めています。

10月は青年部会の例会を開催し次月に迫った3地区合同交流会の企画について話し合いをしました。

11月は3地区合同の交流会、年に一度、愛知県、京都府、大阪府の青年部会が集まって見学会、勉強会、ゴルフ、懇親会などを開催します。今回は大阪が当番でした。



10月青年部会の様子



3地区合同 ゴルフコンペ



3地区合同 懇親会

親睦ゴルフは愛知 5 名、京都 3 名、大阪 9 名が参加、親睦懇親会は愛知 11 名、京都 6 名、大阪 8 名が参加して、大いに盛り上がり、楽しいひと時を過ごしました。

令和 6年 12月10日
(一社)大阪金属プレス工業会
代 表 理 事 林 秀 昭
副会長兼総務経営委員長 島 田 真 輔

令和7年 新春特別講演会 新年賀詞交歓会のご案内

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

毎年の恒例ではありますが、会員企業各位をはじめ、関係行政機関及び関連団体の方々にもお越しいただき、令和7年を迎えるにあたり、新年賀詞交歓会を開催致します。

つきましては、年初なにかとご多用のことと存じますが、万障お繰り合わせの上ご参加いただきますようお願い致します。尚、賀詞交歓会に先立ち、新春特別講演会を開催致しますので、併せてご参加下さいますよう、よろしくお願い申し上げます。 敬具

記

【日 時】 令和7年1月30日(木)

第1部 新春特別講演会 16:00~17:15(予定)

講師：青野剛暁氏(株式会社F.C.大阪 常務執行役員CRO)

演題：「サッカーのチカラは、世界と大阪を繋ぎ、
無限の成長を創造する」



青野剛暁
株式会社 F.C.大阪
常務執行役員 CRO

1974年 東大阪市生
近畿大学附属中 高
近畿大学卒

1999年 東大阪市議会議員 2期7年
2007年~2017年 大阪府議会議員 3期10年
(大阪維新の会 創設メンバー6人衆)
2017年 株式会社Think a Connect 創業
2018年 パリで開催されたBIE総会で、2025年大阪・関西万博決定の瞬間を現地で目視
2019年 FC大阪 マーケティングダイレクター就任
2019年~2022年 ytv あすリートチャンネル サッカー解説者としてFC大阪Jリーグ参入に貢献
2022年~2023年 アフリカビジネスフォーラムにスピーカーとして活躍
2023年 FC大阪 J3リーグ参入
2024年 FC大阪 常務執行役員CRO 就任
2024年 FC大阪公式戦にて世界初 四足歩行AIロボットによるキックインセレモニーを実現。

政界引退後、世界共通言語のサッカーの力で、世界と大阪を繋ぎ成長へのゴールを目指し、カンボジア、香港、アメリカ、ベトナム、オーストラリア、イギリス、オランダ、フランス、ベナン、コートジボアール等を訪問。



第2部 新年賀詞交歓会 17:30~19:30(予定)

会食は 着席&buffet料理を予定

【会 場】 シェラトン都ホテル大阪 (大阪市天王寺区上本町6-1-55)

第1部 新春特別講演会 3階 「金剛の間」 (お部屋は予定です)

第2部 新年賀詞交歓会 3階 「葛城の間」 (お部屋は予定です)

【参 加 費】 お一人目 12,000円 お二人目から 10,000円 (消費税込み)

(送り先) Fax : 06-6762-7633 E-Mail : omsa1@omsa.or.jp

＜参加申込書＞ お申込みは1月15日(水)まで

令和7年 新春特別講演会・賀詞交歓会 に 参加致します。

会 社 名 : _____

窓口ご担当者 : _____

Eメール : _____

ご 参 加 者 (下記にご記入お願いします)

役 職 名	お 名 前	ご参加：○ 不参加 ×		参加費
		特別講演会 16:00～	賀詞交歓会 17:30～	
				12,000 円
				10,000 円
				10,000 円
				10,000 円

(消費税込み)

(お支払いについて)

大阪金属プレス工業会へお振込みお願いします。

当日現金ではお受け取り出来ませんので、よろしくお願いします。

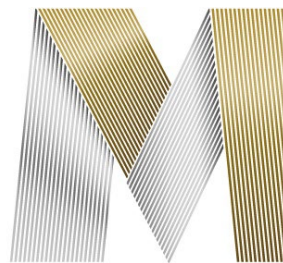
お振込後のキャンセルは1月23日までにご連絡お願いします。それ以降はご返金が出来ません。

(振込先) PayPay 銀行 ビジネス営業部
口座番号 普通 6453572
(一社) 大阪金属プレス工業会
シャ) オオサカキンゾクプレスコウギョウカイ

お振込みの期日は 1月27日 までをお願いします。遅れる場合はご連絡下さい。
請求書が必要な方はお申し出下さい。但しインボイス請求書は発行出来ません。
(登録番号はございません)

金属プレス加工技術展 2025

会期：2025 年 4 月 16 日（水）～18 日（金） 会場：東京ビッグサイト



2024 年 10 月吉日

金属プレス加工技術展 2025

主催：一般社団法人日本金属プレス工業協会

運営事務局：インターモールド振興会

『主催者ブースのご案内』

平素は、展示会開催に多大なるご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。おかげさまで、本年 4 月の大阪展、6 月の名古屋展では、主催者ブースへ多くの会員企業様にご出展いただき、皆様とたくさんの方の来場者を迎え、無事閉幕することができましたことを重ねて御礼申し上げます。

さて、次回『金属プレス加工技術展』（主催：一般社団法人日本金属プレス工業協会）は、2025 年 4 月に東京ビッグサイトにて開催いたします。

弊社正会員様への特典として主催者ブースを設けております。通常の出展とは異なり、安価での出展が可能となっています。お陰様で本年度は約 50 社の正会員様にご参加をいただきました。本日、同封にて 2025 年の主催者ブース出展についてご案内申し上げますので、ご一読いただきぜひ出展の検討をいただけますようお願いいたします。

ご出展に際しご不明な点がございましたら、下記インターモールド振興会までご連絡ください。

【開催概要】

《東京開催》

- ◆名称：金属プレス加工技術展 2025
- ◆会期：2025 年 4 月 16 日(水)～18 日(金) 3日間
10:00～17:00
- ◆会場：東京ビッグサイト （〒135-0063 東京都江東区有明 3 丁目 11-1）
- ◆主催：一般社団法人日本金属プレス工業協会
- ◆運営：インターモールド振興会（テレビ大阪エクスプロ内）
- ◆公式サイト：<https://www.intermold.jp>
- ◆予想来場者数：40,000 人（同時開催展を含む）
- ◆入場料：3,000 円（事前登録後来場者証持参者は無料）
- ◆併催展：INTERMOLD / 金型展 2025（主催：一般社団法人日本金型工業会）
AM EXPO 東京（主催：一般社団法人日本 AM 協会）

※2025 年の名古屋開催はありません。2024 年以降偶数年の開催となる予定です。

インターモールド振興会

一般社団法人日本金属プレス工業協会 主催者ブース出展概要 (東京開催)

[A] 標準小間出展

標準小間サイズ：4㎡
幅：約2m × 奥行き：約2m × 高さ：約2.7m

◆標準小間出展料：無料

別途日金協ブース出展登録料39,600円(税込) がかかります。
※その他の設営・運営に関する費用はすべて自社にご負担いただきます。
※標準小間では、機械実機の展示や実演はできません。

[標準小間に含まれる備品]

- ・仕切り壁 (システムパネル)
 - ・展示台 X2台 (サイズ: W900 mm × D495 mm × H770 mm)
 - ・名名プレート×2枚 (面) ※設置位置の指定は不可
 - ・照明 LED スポット (60W)×1灯
 - ・コンセント (300W・100V)
 - ・パイプイス×1脚
 - ・パネルつ下げ金具 ※事前申込制
 - ・カーペット ※色指定は不可
- ※展示台や照明の設置位置は、後日「小間設備内容申請」にてご指定いただきます。

<その他>

- ・展示会公式 WEB サイトでの企業紹介
- ・オープンセミナーの無償開講 (予定)

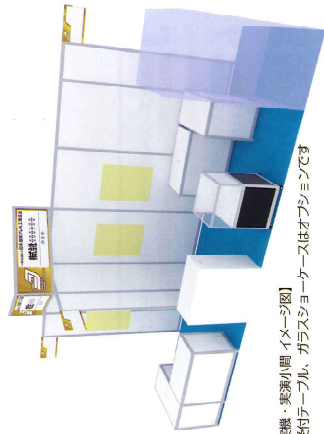
[B] 実機・実演小間出展

機械展示、加工実演を伴う出展を行うことが可能です。
実演ブース小間サイズ：8㎡

幅：約4m × 奥行き：約2m × 高さ：約2.7m

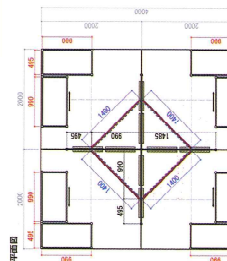
◆実機・実演小間出展料：110,000円 (税込)

別途日金協ブース出展登録料39,600円(税込) がかかります。
※その他の設営・運営に関する費用はすべて自社にご負担いただきます。
※備品は上記「標準小間」に含まれる備品」と同じです。

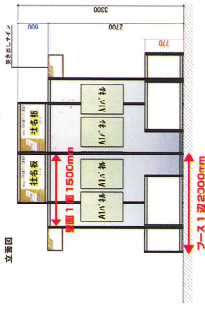


【実機・実演小間 イメージ図】
※受付テーブル、ガラスショーケースはオプションです

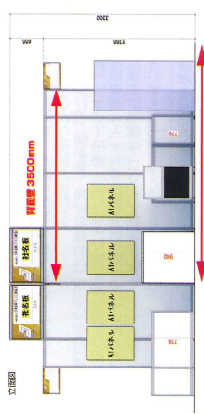
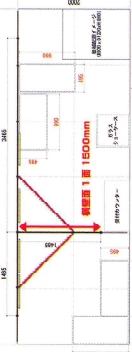
背面の壁幅は3500mm。
500mm 短くしてゆがみを高めず。
幅1500mm 側でも A1 パネル2枚の掲出は可能です。



背面・横面の壁幅は1500mm。
500mm 短くしてゆがみを高めず。
1面あたり A1 パネル2枚掲出が可能です。



【標準小間 イメージ図】



背面の壁幅は3500mm。
500mm 短くしてゆがみを高めず。
幅1500mm 側でも A1 パネル2枚の掲出は可能です。

一般社団法人日本金属プレス工業協会 主催者ブース出展概要 (東京開催)

有料オプション

①スペースの追加

追加料金: 55,000 円 (税込) / 2㎡ (幅1m×奥2m)
標準小間 (4㎡) に2㎡単位 (幅1m×奥2m) で追加申込可能。
※スペースを追加しても備品の点数は、標準小間と同じです。
※希望する追加スペースを2㎡単位でご記入ください。
※主催者ブースへの参加数によっては、追加のご希望に添えない場合があります。

②オプション備品の追加

標準小間に含まれない装飾設備について追加申し込みを行うことが可能です。
また、別途定める出展規程の範囲内で持ち込みの装飾作業を行うことが可能です。
ただし、レンタル備品、電気工事、照明設備工事などについては、事務局の指定する事業者へのお申し込みと仮定させていただきます。(備品の紛失などを防ぐ為です)
→ WEB申請システムを利用した申し込み手続きを行います。

出展に際しての注意

- 出展規定【出展者ハンドブック 3月上旬配布予定】に準じた装飾を行うことが可能です。
- 装飾規定【出展者ハンドブック 3月上旬配布予定】に準じた装飾を行うことが可能です。
- 自社所有の展示備品などを持ち込むことが可能です。
- 照明設備の追加など電気工事作業を行うものについては、自社手配をすることができません。
- 会員企業の共有展示ブースとは異なりますので、近隣の出展ブースに影響を及ぼすような展示については、ご連絡ください。
- 大音量の実演やモニターでの映像上映、臭気等を伴うような展示、過度な照明設備による光源の熱気など、別途、装飾・実演などを含めた出展規程を定めます。
- 出展の際は、自社小間を、3面以上は一切できません。通路へのハミ出し、高さ制限を超える展示は、いかなる場合も撤去の対象となりますので、ご注意ください。
- 出展者は開催期間中、各種規程を遵守しブース運営を行うこととします。また、全期間においてブース運営責任者、またはそれに準ずる者が展示ブース、各種会場にて立ち会わなければならないこととします。原則、ブースを無人で運営すること、開催期間中の撤去はできません。

出展申込方法

- 1 出展者専用サイトから必要事項をご入力の上、企業IDを取得してください。
ID/パスワード発行 (日本金属プレス工業協会ブース専用URL)
https://www.intarmold.jp/new/exhibitor/group_app=rikkin
上記の手続き後、発行されたID とパスワードがメール送信されますのでご確認ください。
(Ⅲ) 発行されたID 取得後、または既にID 取得済み(2020年以降の出展・オンライン企業・オンライン出展企業)の場合は、出展者専用サイトより出展申込手続きを行ってください。
▼ 出展申込手続き ログイン画面
<https://www.intarmold.jp/mypage/login/>
- 2 出展方法をお選びください。
①標準小間出展 (出展登録料39,600円(税込))
②実機・実演小間出展 (出展登録料39,600円(税込))
(出展料149,500円(税込))、日金協ブース出展登録料39,600円(税込)を含む)

スケジュール (予定)

- 申込受付開始 10月~
- 出展申込締切 2025年1月17日 (金)
※スペースの追加は受付を締切の予定です。
定数が超過は抽選して受け付けます。
- 主催者ブースレイアウト発表と出展者ハンドブック配布 2025年3月 (予定)
・ブースレイアウト申請
・備品レンタル申請
・ブースでの配布物制作
・展示物・加工サンプル等準備
- 搬入日 4月15日 (火) 9:00~17:00
- 会期 4月16日 (水) ~18日 (金)
※開会時間 10:00~17:00
※会期中は全日程の参加が必要で、最終日は前日までブース対応いたします
- 撤去作業 4月18日 (金) 17:00~21:00

- 3 主催者ブースへのご出展は、一般社団法人日本金属プレス工業協会の正会員の申し込みが可能です。
- 4 事務局でお申し込み内容を確認後、承認作業を行います。お申し込みが承認されると随時メールが届きます。
- 5 確認メール到着後に再度出展者専用サイトへログインいただくと、お申し込み内容を確認いただけます。
- 申込締切 2025年1月17日 (金)
スペースに限りがあります。満員になるとはなりますが、早めに要約する場合があります。スペースに余裕がある場合は、可能であれば申し込みます。

2024年度 セミナーのご案内 (RP803)

実習を通して
技術を習得！

実習で確認しながら学ぶプレス加工と金型

－プレス加工と金型の基盤技術を実習で確認しながら学ぶ－

プレス加工は生産性が非常に高く、高精度の製品を大量にしかも安価に作れるといった優れた特性を持っており、機械・金属製品製造業において重要な産業技術の一つとなっています。ノウハウや経験が大いに物を言うプレス加工ですが、良い製品を作るためには加工の原理をきっちりと理解することが求められます。本研修では、現場ノウハウを適切に共有知識として押し上げるために、基本となるせん断・曲げ・絞り加工を中心に取り上げ、それらの原理、特徴について実習で確認しながら学んでいただきます。さらに、プレス機械や金型に関する知識、トラブル事例を交え、実践にも役立つ内容に焦点をあて、わかりやすく解説いたします。

主な内容		1. プレス加工の概論 2. 被加工材料 (1)被加工材料の種類と特徴 (2)実習:引張試験 (引張強さ、全伸び) (3)実習:成形性試験(深絞り試験) 3. プレス機械の機構、動作原理 (1)サーボプレスの特徴		4. 金型の機能と金型部品の働き (1)実習:モデル金型の分解・組立 5. プレス加工の種類と特徴 (1)せん断加工 (2)曲げ加工 (3)絞り加工	
日時	RP803	2025 年 3 月 11 日(火)～3 月 12 日(水) 9:20～16:20 (会場受付:9 時 10 分～)			
対 象 者		現場のリーダー及び現場従事者(概ね経験年数5年未満の方)			
参 加 費		会員 11,000円 (税込) 非会員 22,000円 (税込)	定 員	15名 (先着順)	※6名以上で実施予定
講 師		(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構 高度ポリテクセンター			
主 催		一般社団法人日本金属プレス工業協会			
申込み方法		裏面の参加申込書にてFAXまたはメールでお申し込み下さい。			
会 場	大阪	ポリテクセンター関西 〒566-0022 大阪府摂津市三島1-2-1 			

参 加 申 込 書 (2024 年度)

(一般社団法人大阪金属プレス工業会 御中)

年 月 日

セミナーについて、次のとおり申し込みます。

セミナー名	実習で確認しながら学ぶプレス加工と金型 (RP803)
-------	-----------------------------

企 業 名		所 属 団 体 (✓してください)	☒ (一社) 大阪金属プレス工業会 ☐ (一社) 日本金属プレス工業協会 ☐ 一般
所 在 地	〒		
連 絡 先	TEL	FAX	
	E-mail		
申込担当者	ふりがな	部署名	
	氏 名		

ふりがな 参加者氏名	生 年 月 日	備 考
	西暦 年 月 日	
	西暦 年 月 日	
	西暦 年 月 日	

お申込み、キャンセル、受講者変更は、メールまたはFAX でお願ひします。

メール: omsa1@omsa.or.jp

FAX: 06-6762-7633

※注1 受付は先着順です。定員になり次第、締切りとさせていただきます。

※注2 各会場において、受講者が一定数に満たない場合や自然災害、感染症等の影響により、中止となる場合がございます。中止の場合は、大阪金属プレス工業会から申込担当者宛にご連絡いたします。

※注3 受講料の振込のご案内は、開催が確定しましたら申込担当者宛に送付いたします。

※注4 お申し込みの取消し(キャンセル)は、開講日の2週間前(2月21日)までにFAX またはメールでご連絡ください。それ以降は欠席となり返金いたしません。

会員の皆様を「守り育てる」 会員の皆様と一緒に「未来につなぐ」

(一社)大阪金属プレス工業会50周年 会員パートナー宣言

我が工業会ならではの情報発信力とネットワーク環境を活かしながら
会員各社の社員様の育成のお手伝いをし
各社の業績の向上を支援します。

そしてこれらの果実を享受した会員自身が
次に工業会の情報収集力とネットワークをさらに強めていきます。
会員総てが工業会のパートナーとしての自覚を持っているからです。

ますます厳しさを増すグローバル競争の中
50周年を機に、ここ関西・大阪の地で活躍する会員の皆様が発展され
それが大阪のプレス業界を活性化して
将来世代に夢と希望を繋ぐことを目指します。

2016年5月26日

一般社団法人 大阪金属プレス工業会 理事一同

一般社団法人 大阪金属プレス工業会 公式HP



一般社団法人 大阪金属プレス工業会 公式facebook



一般社団法人 大阪金属プレス工業会 公式LINE 友だち登録
(会員企業用)

